

船舶事故調査報告書
(通常案件・特別様式)

平成21年7月9日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

委員長 後藤昇弘
委員 楠木行雄
委員 横山鐵男(部会長)
委員 山本哲也
委員 根本美奈

事故名	モーターボート ひさの屋29号 乗組員死亡
発生年月日時刻	不明(平成21年2月15日17時20分ごろ本船が発見された。)
発生場所	琵琶湖(本船発見場所は、滋賀県大津市和邇 ^{わに} 今宿25番地 地先沖300m付近であった。)
事故調査の経過	調査の概要: 平成21年2月16日、本事故の調査を担当する主管調査官(神戸事務所)ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種・船名等 総トン数・L×B×D・船質 機関・進水年月	モーターボート ひさの屋29号、船舶検査済票の番号 第253-28562、 個人所有 0.3トン、4.15m×1.50m×0.58m、FRP ガソリン機関、出力7kW、平成15年2月
気象:海象	気象:天気 晴れ後曇り、風向 北西～北北西、風力 2 海象:波高 不詳、水温 約8 特記事項:なし
乗組員等に関する情報	船長 男性 42歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和63年12月6日、免許証交付日 平成20年11月26日(平成25年12月5日まで有効)
死亡・行方不明者	死亡 1人(船長)
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年2月15日07時30分ごろ、ウエストポーチ型救命具(浮体)を着用した船長が、琵琶湖岸の貸しボート店から本船を1日借りて1人で乗船し、同店を発して、バス釣りに向かった。 本船が返却予定時間を過ぎても戻ってこなかったため、心配した貸しボート

	<p>店主は、船長の携帯電話に連絡したがつながらなかったため、17時ごろ、船で捜索に向かった。</p> <p>17時20分ごろ、本船は、発航地から北東方約700mに所在する棧橋に無人で漂着しているのが発見された。</p> <p>機関は、アイドリング運転状態であった。</p> <p>平成21年3月21日23時50分ごろ、船長は、同棧橋から北東約150mの湖岸において、ウエストポーチ型救命具(浮体)が外れた状態で、釣り人によって発見され、その後、溺死と検案された。</p>	
その他の事項	<p>ウエストポーチ型救命具(浮体)は、発航地点とボート発見地点との中間地点付近において、展張状態で発見された。</p>	
分析	<p>気象等の関与</p> <p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>なし</p> <p>船長が水温の低い湖に落水し、溺死したことにより発生した可能性があると考えられる。</p> <p>着用していたウエストポーチ型救命具(浮体)が外れたことが、溺死に関与した可能性が考えられるが、その経過を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、琵琶湖において、単独乗船中の船長が落水したため、発生した可能性があると考えられる。</p>	